

薬学部実習生の声

年度	実習病院	感想等
R5	尼崎	2ヶ月半の実習を通して、チーム医療における薬剤師の役割について学ぶことができました。病棟での服薬指導に加えて、AST・PICU・GCU・NST・DDST・緩和ケアチームなど様々なカンファレンスに参加させていただき大変勉強になりました。また、抗がん剤やTPN製剤・注射調剤など病院薬剤師ならではの業務も体験させて頂きました。実習が始まるまでは、病院薬剤師の方がどのような仕事をされているのかイメージができていなかったのですが、実習を通して理解することができました。プリセプターの先生を始め薬剤部の先生方には丁寧な指導をしていただき多くのことを学ぶことができました。今後も実習で学んだことを活かして頑張っていきたいと思います。
R5	尼崎	2ヶ月半お世話になりました。最初は分からないことばかりで不安もありましたが、プリセプターの先生をはじめとする薬剤師の先生方が優しく丁寧に教えてくださり、大変勉強になりました。病院でしか経験できないTPN調製や抗がん剤ミキシングなどの調剤業務を経験させていただきました。また、チーム医療やICUの見学もさせていただき、他職種との関わりを体験できるとともに、チームにおける薬剤師の役割を学びました。今回の実習では病棟で患者さんと接する機会をたくさんいただきました。最初は患者さんとの会話が難しく感じましたが、先生の患者さんとの関わり方を見学させていただき、とても勉強になりました。そして、患者さんが先生に様々な相談をされている姿を見て、先生のような薬剤師になりたいと強く感じました。お忙しい中貴重な体験をさせてくださりありがとうございました。
R5	尼崎	11週間という短い間でしたが、病院志望である私にとってはとても充実した日々を過ごすことができました。実習を開始したばかりの頃は、薬局とは異なり調剤時に腎機能を確認したり、ハイリスク薬のオーダー理由を確認したり、様々なことを調べながら調剤するのは大変だと感じていましたが、カルテから得られる情報をもとに、薬剤の用量は適切か、投与しても問題はないかを確認しながら調剤することの重要性を理解することができました。特に、抗がん剤調製は他の病院ではあまり体験させてもらえないことが多いと聞き、貴重な体験ができてよかったです。また、急性期医療としてICU病棟を見学し、実際にカルテで患者の状態を追いつながりながら薬剤師の業務を見学できたことは、より一層病院で働きたいと思うきっかけになりました。お忙しい中、懇切丁寧にご指導頂きありがとうございました。
R5	尼崎	これまで病院薬剤師と関わらせて頂く機会が少なかつたため、薬剤部の中や業務の想像がつかない不安の中で実習に参加しました。実際に参加させて頂くと、実習担当の先生やプリセプターの先生がお忙しい中で日々親身に寄り添って下さったため終始穏やかに実務実習を終えることができました。実習期間中は、最新の調剤機器を扱いながらの調剤業務や抗がん剤のミキシング、病棟実習、緩和ケアやDDST等のチーム医療への参加と実習内容が非常に充実しており、日々成長を実感でき、毎日実習へ行くことが楽しみでした。今回の実習を通して、病棟での患者との関わる姿や他職種連携、薬剤部内の環境の良さを身をもって体感させて頂けたことで、薬剤師という職業への価値観が変わり、病院薬剤師になると決断しました。尼崎総合医療センターで勤務されている先生方のような個々の患者さんに寄り添える病院薬剤師になれるよう頑張ります。11週間、お忙しい中貴重な経験をさせて頂き誠にありがとうございました。
R5	尼崎	12週間という短い期間でしたが、病院での薬剤師の業務を間近で関わるすることができました。はじめはとても緊張しましたが、先生方に色々なことを教えて頂き、たくさん勉強することができました。計数調剤や服薬指導、TPN・抗がん剤の調製など様々な実習をさせて頂きました。疑問点があるとすぐに薬剤師の先生に質問し、解消できるといった恵まれた環境だったと思います。実習では病棟に行かせて頂く機会が何度もあり、実際に患者さんと会話することができました。電子カルテからこういった服薬指導が必要か、考える良い機会になりました。病院では薬局とは異なり他職種と関わることができ、NSTや緩和・せん妄などのチーム医療のカンファレンスに参加することができました。実習中はご迷惑をお掛けしましたが、親切に優しく対応して頂きありがとうございました。今回の実習の経験を生かして頑張っていきたいと思います。

R5	尼崎	<p>私は病院薬剤師を目指しており、特に病棟業務・製剤に興味がありました。実際に実習を通して、薬剤師という職業の重要性について学ぶ事ができました。病棟では医師や看護師と話し合い、チームで患者さんの病態の改善に努めていました。そこで病院薬剤師は薬の知識だけでなく、疾患や手術の内容まで理解し、処方薬について考える必要があると感じました。自分が思っていたより病院薬剤師の業務は幅広く、取り扱う疾患も多いと思いました。実際にいろいろな病棟に上がらせていただき、服薬指導を経験させていただいたので、各病棟の特徴や疾患について学ぶ事ができました。お忙しいなかチーム医療や抗がん剤の調製など貴重な経験もたくさんさせていただきありがとうございました。この経験を今後にも活かし、頑張っていきたいと思います。</p>
----	----	---

R5	西宮	<p>11週間にわたる実務実習を受け入れて下さり、ありがとうございました。  病院実習では電子カルテの詳細な情報を見ることができるため、薬の副作用や禁忌などに気が付きやすい点が薬局との大きな違いだと感じました。また、医者への情報提供、疑義照会を実際に行うことで、処方箋の問題点を見逃さないことの重要性、薬剤師としての責任を実感しました。  病棟での薬剤管理指導では薬剤師の先生に沢山助けいただきました。患者さんの困っていることや訴えから、ガイドライン、適正使用ガイドなどの薬学的根拠を元に判断することが大切だと感じました。そのためには、薬剤に関する高度な専門知識と、治療においての問題点を洗い出す洞察力、サーチ力が重要であると感じました。また、薬学、医療知識量の乏しさと、コミュニケーションの重要性を感じました。  今回の実習の経験を通して学んだ臨床での体験をもとにこれから薬剤師として薬のプロフェッショナルとなり、医療現場に貢献していきたいです。  11週間お世話になりました。</p>
R5	西宮	<p>11週間の実習で、様々なことを経験させて頂き、本当にありがとうございました。  注射調剤では、抗菌薬の用法用量を調べる時に参考にする書籍、細菌検査結果から抗菌薬の感受性があるかを確認できることを教えて頂きました。抗がん剤調剤では、様々な種類のレジメンに触れることができました。レジメンでの休薬期間や中止基準の確認の方法を教えてくださいました。抗がん剤の催吐リスクによって、使われている制吐薬が違うことも理解できました。病棟業務である薬剤管理指導では、見学だけでなく実際に服薬指導も経験することができました。実際に服薬指導をする前には、薬剤師の先生方が服薬指導の内容を一緒に考えて下さったので、初めての薬剤管理指導も安心して取り組むことができました。これら以外にも、各分野のチーム医療に参加している薬剤師による講義がありました。具体的には、AST、緩和医療、認知症ラウンド、糖尿病、NSTなどの講義です。  また、薬剤部内での実習だけでなく、麻酔科見学や検査部見学、放射線科見学にも行かせて頂きました。他職種の方がどのようなことをされているのかを知れて、とても良い機会となりました。最後になりますが、病院実習で教えて頂いたことを活かして、立派な薬剤師になれるように勉学に励んでいきたいと思ひます。</p>
R5	西宮	<p>11週間にわたる長期実務実習を受け入れて下さり、ありがとうございました。  病院薬剤師の仕事は多岐にわたり、薬剤に関する知識だけでなく、病態や検査値、治療方法等の幅広い知識が必要であるということが分かりました。はじめは、大学で学んだことと臨床現場においてギャップがあり、分からないことも多く苦戦しましたが、先生方が丁寧に指導して下さいましたので、たくさんの成長ができたと思ひしています。  調剤では、処方箋や電子カルテから患者背景や病態を把握し、薬剤、用法用量等が適切であることを確認することで、患者さんへの安全で最適な薬物治療の提供に繋がると学びました。他にも薬局では取り扱いのなかった注射剤や輸液、抗がん剤の調剤をはじめとする様々な新しいことにも携わらせて頂き、知識を習得することが出来ました。  また、服薬指導にて実際に患者さんと対面でお話しさせて頂き、自身の反省点や成長を沢山感じる事ができました。その中でも特に感じたことは、自身の薬剤、医療知識量の乏しさと、コミュニケーションの重要性でした。伝え方や聴き取り方を工夫することで、患者さんとの信頼関係の構築につなげることが出来るということも学びました。  実務実習中、本当に多くのことを教えて頂きました。今後は、実習での学びを糧に勉学に励み、薬剤師として必要な知識を身につけ、人と人との対話・つながりを大切にしながらコミュニケーション能力を鍛えていきたいと思ひます。11週間本当にありがとうございました。</p>

R5	西宮	<p>この度は11週間という長期にわたり、貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。</p> <p>病院実習では電子カルテで患者背景を含め病態や検査値などを確認できるため、処方の妥当性について深く考える力が身に付きました。また、調剤過誤を防止するための工夫やシステムが導入されており、医療安全への取組の強さを実感しました。</p> <p>服薬指導では患者さんと直接お話しすることで、病棟業務のやりがいや患者さんの立場になって考えることの重要性について学びました。また、自身のコミュニケーション能力の必要性や知識不足を痛感し、薬剤師の業務は対物ではなく対人であることを改めて実感しました。</p> <p>他部署見学もさせて頂き、多職種への理解を深めることができました。そこで求められる薬剤師の役割について考える良い機会となりました。</p> <p>今回の実習を機に、大学で学んだ知識を臨床現場でどう活かすか、どのような知識が必要かを考え、今後の課題が見えてきました。実習を通して学んだことを生かして薬剤師として活躍できるように、さらに自己研鑽に励んでいきます。</p> <p>薬剤師の先生方にはお忙しい中手厚いご指導をいただき、本当にありがとうございました。</p>
R5	西宮	<p>12週間の病院実習を通して、薬剤師としての役割や臨床の現場で求められる知識について考えることが出来ました。</p> <p>私が考えた薬剤師としての役割は、医師が決めた治療方針を正しく進めることが出来るようにサポートする役割が大きいという事です。医師の処方した薬を全て鵜呑みにして調剤するのではなく、腎機能や年齢などを考慮した上で、本当に量や薬が正しいのかを判断する必要があります。間違いがあった場合は、なぜ間違っていると考えるのか根拠をもって説明できる必要があります。このようにお互いの知識や意図をすり合わせる事で患者にとって、より良い治療を行う上で重要だと感じました。</p> <p>また、現場で求められる知識は大学で学ぶ知識とは異なる場合があるという事を学びました。具体的な例としては、採用されている酸化マグネシウムの粉薬は何があるかとの問い合わせに対し、重カマが正解となりますが、患者は胃管からの投与を検討していることを聞き取りました。重カマの粉薬は胃管に目詰まりを生じる可能性があるため、この場合は酸化マグネシウムの錠剤を処方し、用時溶解してもらうとの回答が最適となる事を学びました。</p> <p>このような経験から大学で学ぶ知識はもちろん重要ですが、現場では教科書通りにはいかないことが沢山あり、そのような時には柔軟に対応できるようにになりたいと思いました。</p> <p>年末年始の忙しい中、12週間指導してくださり、本当にありがとうございました。</p>
R5	西宮	<p>病院実習では、調剤の際に患者カルテや検査値の確認を行い、処方内容について考えることが出来ました。薬局では取扱いのなかった注射剤の調剤も行い、どのような症例に利用するのか、投与速度や投与経路、濃度は妥当なのかなどの注射剤ならではの注意点も多く学ぶことができました。</p> <p>薬剤師同伴のもと疑義照会を行うことも出来、病院内での薬剤師の役割や責任についても沢山学びました。また他の部署への見学やNSTラウンドにも同伴することで、大学の講義等での知識しかなかった多職種連携についても実感することが出来ました。</p> <p>病棟業務では初めに一通りの診療科を見学することで、どのような患者が入院しているのかについても知ることが出来ました。その後、決めた患者に介入した際もガイドラインなどの図書を利用するなど、自分で調べ考える力も身についたと思います。また、私の介入している患者の症例に合わせて、似たような症例の別患者にも介入させていただき、より一層症例に対する理解が深まりました。</p> <p>講義も定期的に設けてくださり、実習生では介入しにくい救急での薬剤師の役割や、感染症チーム、認知症ラウンド、TDMの投与設計などについても学ぶことが出来ました。大学の講義では学んでいても、実際に活躍されている薬剤師さんから直接聞く話では、どういったところが大変かまた注意を払うかなどを伺うことが出来、病院薬剤師の業務をより鮮明に理解することが出来ました。</p> <p>今回での実習を機に、実際の医療現場ではどのような形で知識が活かされているかを考えながら自己研鑽に励み、今後薬剤師として活躍できるよう頑張りたいと思います。12週間、お忙しいなか手厚いご指導を頂き本当にありがとうございました。</p>

R5	加古川	<p>実習を開始したばかりの頃は、薬局とは異なり調剤時に腎機能を確認したり、ハイリスク薬のオーダー理由を確認したり、様々なことを調べながら調剤することが大変ではありましたが、カルテから得られる情報をもとに薬剤の用量は適切なのかなどを確認しながら調剤することの重要性を理解することができました。</p> <p>また、様々なカンファレンスに参加させていただき、薬剤師のチーム内の役割を知ることができ、病院薬剤師の薬局薬剤師とは異なる良さを知ることができました。</p> <p>病院実習を通して将来目指す薬剤師像について考えることができました。</p> <p>11週間、お忙しい中ご指導頂き、ありがとうございました</p>
R5	加古川	<p>11週間丁寧なご指導ありがとうございました。</p> <p>多忙な中、調剤中分からないことを教えて頂いたり、時間を作って沢山薬剤管理指導に連れて行って下さったりした先生方のおかげですごく充実した実習になりました。</p> <p>毎日のように開催して下さる勉強会や普段の調剤、注射剤の取り揃えなどで薬についてや、薬剤師について、法律についてや、チーム医療についてなど様々な事を学ぶことが出来ました。</p> <p>その他にも、他の部署の見学やラウンドへの参加をさせて頂き、チーム医療における薬剤師の働きや他の医療従事者の方々の働きについても知ることが出来ました。</p> <p>この実習で学んだたくさんのことをしっかり活かしてこれからも頑張っていきます。</p> <p>11週間薬剤師の先生方をはじめ、様々なことをご指導下さった病院の先生方、本当にありがとうございました。</p>
R5	加古川	<p>11週間、病院実習をさせていただきありがとうございました。</p> <p>病院実習を行う前は緊張と不安でいっぱいでしたが、薬剤師の先生方や事務員さんが優しく丁寧に教えて下さったことで伸び伸びと実習を行うことが出来ました。</p> <p>病院でしか行うことができない注射調剤や病棟業務を経験させていただき、病院薬剤師の仕事内容を知ることが出来ました。</p> <p>報告会の準備をするにあたって、化学療法についての知識を得ることができ、患者様に応じた服薬指導業務の重要性も学ぶことが出来ました。</p> <p>また、将来、病院薬剤師として働いてみたいと思うきっかけにもなりました。</p> <p>薬剤師の先生方、事務員さん、実習でお世話になった様々な方々、お忙しい中本当にありがとうございました。</p>
R5	加古川	<p>忙しい中、ご指導いただきありがとうございました。</p> <p>実習では座学のみでは得られない貴重な経験を得ることができました。</p> <p>服薬指導では、実際に薬剤師の先生の指導を間近で見学して、AIのような業務的な仕事ではなく、対人であることを強く意識し、患者さんからの返答をさらに深く探り、より詳細な聞き取りを行うことが重要であるということ学びました。調剤では、処方内容の評価を行うことの重要性を理解することが出来ました。</p> <p>また、様々なカンファレンスに参加し、医師や看護師をはじめとする医療従事者間の情報共有が大切であるということを理解しました。</p> <p>この11週間の実習で得た経験を生かし、今後も勉学に励みたいと思います。ありがとうございました。</p>
R5	加古川	<p>12週間の実習を通して、大学では学ぶことの出来ない現場ならではの知識や手技を多数学ぶことが出来ました。</p> <p>カンファレンスやラウンドなどを同行し、チーム医療の大切さを感じる事が出来ました。</p> <p>病棟での服薬指導では、患者さんの訴えを傾聴するだけでなく、不安を和らげられるような態度や、話しやすいような雰囲気が大切であると学びました。</p> <p>この実習で身に付けたことを、今後も活かしていきたいと思えます。</p> <p>指導して頂いた薬剤師の先生方、本当にありがとうございました。</p>

R5	加古川	<p>12週間にわたり、実習をさせていただきありがとうございました。病院実習では大学で学んできた知識や薬局実習での経験をさらに深めることができました。特に調剤時にカルテを閲覧して検査値や服用歴を確認することで、医師の処方意図の理解や投与量の確認に繋がりました。様々な診療科の、様々な患者様に服薬指導をさせていただいたことで、患者様一人ひとりと向き合って指導することの大切さを再確認しました。またASTやNSTなどのラウンドにも参加させていただき、チーム医療の中での薬剤師の役割も学ぶことができました。加古川医療センターで学んだことを生かし、指導薬剤師の先生方のように素敵な薬剤師を目指して頑張ります。本当にお世話になりました。</p>
----	-----	---

R5	はり姫	<p>内服薬や注射薬の調剤業務に加え、持参薬の鑑別、DI業務など、大学では学べない大変貴重な経験をさせていただき、非常に勉強になりました。調剤業務では、薬局とは違いカルテで患者さんの経過や検査値を見ることで、より深く薬の処方意図や投与量について考えることができました。</p> <p>病棟での実習では、先生方からどのような言い方をすれば患者さんに伝わりやすいかなどについて優しく教えていただき、実際に服薬指導を行うことができました。</p> <p>2ヶ月半、お忙しい中ご指導いただき本当にありがとうございました。</p>
R5	はり姫	<p>実習前、病院薬剤師には馴染みがなく、どのような業務を行っているか全くわかりませんでした。</p> <p>実習では、調剤はもちろん、病棟業務にチーム医療、持参薬鑑別など、様々な業務に携わらせていただくことができ、それぞれの病院薬剤師の業務内容について、学ばせていただくことができました。</p> <p>今まで学んできた知識を、今回の実習でグレードアップさせることができたように感じます。</p> <p>はりま姫路総合医療センターの薬剤部の皆様のような、知識の豊富な薬剤師になれるよう、これからも勉強に励みたいと思います。11週間、ご指導ありがとうございました。</p>
R5	はり姫	<p>実習では、計数調剤や注射剤調剤の他、持参薬鑑別やDI業務、病棟業務など、幅広い業務内容を体験させていただきました。特に、薬局実習と異なる点として、注射剤調剤やDI業務では、輸液や抗がん剤などについて多くの知識を得ることができ、病棟業務では一人の患者さんに複数回服薬指導を行うことで、じっくりと症例および患者さん自身と向き合うことができました。また、医療チームのカンファレンスにも参加させていただき、他の医療スタッフへの医薬品情報提供や薬物治療のアセスメントの共有など、多職種連携の中の薬剤師の役割について自分なりに少しずつ理解を深める事ができました。実習で学んだことを大切に、日々精進してまいります。本当にありがとうございました。</p>
R5	はり姫	<p>病院実習では、大学で出来ない経験をさせて頂き充実した毎日でした。特にカルテで患者さんの病状や経過、検査値や各職種の記録などを確認した上で薬物療法に関わったことは大きな経験でした。背景の違う1人1人の患者さんを様々な角度から見て、薬の面からどう関わられるか考えたことで新たな知識を得たり病態や薬の理解が深まりました。最新機器の導入からは薬剤師の業務が対物から対人へ移行し、薬剤師の専門性を発揮していることを感じました。チーム医療への参加や部署見学ではチーム医療での薬剤師の職能や他職種の専門性を学びました。お忙しい中ご指導頂いた薬剤部の皆様に感謝申し上げます。実習での経験を忘れず自己研鑽に励み、将来活躍できる薬剤師になりたいです。</p>
R5	はり姫	<p>実習では調剤や病棟業務、その他幅広く業務を体験させていただきました。特に印象深かったことは2つあります。1つ目は病棟業務での服薬指導です。様々な症状の患者さんに接し、症状や治療薬について勉強することができました。また患者さんに説明する際にはしっかり伝わるように分かりやすい言葉を使い、理解してもらえるように努めました。患者さんの治療経過を追うことで薬物療法に関わることができました。2つ目はチーム医療の見学です。他職種の方達が1人の患者さんについて情報を共有し、様々な視点で治療に関わっている様子を実際に見ることができました。薬剤師もチーム医療の一員であり、服薬状況や副作用の有無を確認した上でカンファレンスに参加し薬物療法に関わっていることが分かりました。実習で学んだことを大切に薬剤師になれるように精進してまいります。本当にありがとうございました。</p>
R5	はり姫	<p>病院実習では、計数調剤、注射調剤、病棟業務に加え、薬剤師の先生方による講義、他職種の方とのカンファレンス、様々な部門の見学をさせていただき、毎日が学びのある、濃い時間を過ごすことができました。</p> <p>調剤や病棟業務では、薬局実習では見ることができなかった検査値やカルテの情報から、患者さんにできることを考えることの重要性を感じました。</p> <p>また、カンファレンスに参加させていただいたことにより、チーム医療の在り方、そこで薬剤師にできることは何か考えるきっかけとなりました。</p> <p>皆様お忙しい中私たちに丁寧にご指導いただきありがとうございました。病院実習で学んだ事を活かしてこれからも日々精進してまいります。ありがとうございました。</p>

R5	丹波	<p>11週間と長期実務実習を受け入れて下さり、またお忙しい中ご指導して頂きありがとうございました。日々の調剤の中では、内服薬の用法用量や小児用量の適正チェック、医師へ直接疑義照会を行い、病院実習ならではの経験をさせていただきました。化学療法のレジメンチェックも実際にさせていただき、検査値を確認し、患者さんの容態に合わせた投与量の設定が厳密に行うことの大切さを学びました。病棟業務では、薬の効能効果や副作用について患者さんへの伝え方の難しさと日々疾患や薬について学ぶことの大切さを感じました。他にもICT/AST/NSTといったチーム医療への参加や検査部、放射線課、手術室、血液浄化センターの見学など貴重な経験をさせていただきました。実習で学んだことを忘れずにこれからの勉強、将来薬剤師として働く際に活かして頑張っていきたいと思います。</p>
R6	丹波	<p>11週間という短い期間でしたが、毎日のように新しい学びがあり、とても充実した病院実習でした。実習内容は、調剤業務や病棟業務だけでなく、透析室・栄養課・手術室・放射線課・検査部など、様々な部署の見学や、チーム医療（AST・NST・PCT）にも参加させていただき、他職種と薬剤師の関わり、チーム医療における薬剤師の役割を学び、薬剤師が医療従事者の一員であることを実感しました。また、実習中に大学で学習したことをそのまま活かすことができる場面もあり、モチベーションの向上につながりました。しかし、それと同時に臨床現場にて現在の知識を活用・応用していく難しさも感じ、経験や最新の知識が必要となることも学びました。日々学習し続けることを大切に、これからも勉学に励んでいこうと思います。先生方、お忙しい中いつも気にかけて下さって丁寧にご指導いただき、ありがとうございました。</p>
R7	丹波	<p>11週間指導して下さった多くの薬剤師の先生方、ありがとうございました。病院実習において、調剤業務、検査部などの他部署見学、カンファレンス・感染対策チーム・栄養サポートチーム・緩和ケアチームへの参加、入院患者さんとの関わりを通して多くのことを学ばせていただきました。多職種連携の中で活躍されている薬剤師の先生方を間近で見る機会をいただけてとても刺激になりました。服薬指導や面談において、患者状態に合わせた個別性のあるコミュニケーションの取り方を勉強させていただきました。また、抗がん剤治療をされている患者さんに関わらせていただけたことが印象に残っています。様々なことを丁寧に説明して下さり、臨床現場でしか学ぶことのできない貴重な体験をさせていただきました。この病院実習から得たことをこれから活かしていけるように頑張りたいと思います。</p>



R5	淡路	<p>病院実習では調剤業務だけでなく、病棟での服薬指導やラウンド/カンファレンス、検査部や放射線部の他部署見学、抗がん剤調製見学など大学や薬局実習では学ぶことができない多くの貴重な体験をさせていただきました。また、電子カルテで医師や看護師などの診察記事を見たり、NSTやPCTカンファレンスを見学して1人の患者さんに対して様々な医療従事者が治療またはケアに関わっていることを学ぶことができました。この実習での経験をこれからの勉強にも活かして頑張っていこうと思います。お忙しい中、11週間という長期にわたりご指導頂きありがとうございました。</p>
R5	淡路	<p>病院実習では調剤業務や病棟業務などを通じて様々な分野についてを医療現場で直に勉強することができました。調剤業務では患者に出ている処方箋の医薬品の用量をその日の血液検査の結果で調節したり院内のカルテを参照し投与の可否を決めるなど病院ならではの経験ができました。病棟業務では服薬指導を行う上で薬の説明だけではなく副作用の評価など、薬剤師だからこそ気付けることがあることを学ぶことができました。また、ラウンドやカンファレンスの見学では実際に自分の目で他職種連携を見ることができてチーム医療における薬剤師の役割を実感することができました。今回の実習で学んだことを将来に活かせるよう勉強をしたいと思います。お忙しい中たくさんのお話を経験させていただき本当にありがとうございました。</p>
R5	淡路	<p>お忙しい中、貴重な時間を割いてご指導いただきありがとうございました。病院実習では、調剤業務・服薬指導だけでなく、ラウンドへの参加・抗がん剤の調製・検査部や放射線科の見学など薬剤部以外のことも知ることができ、貴重な経験ができました。薬局実習では常用薬に関する指導が多かったため、病棟での服薬指導では、初回指導やケモ患者さんに対する指導を経験できて大変勉強になりました。また服薬指導・吸入指導を通して、様々な場面で他の職種の方々と協力し、チーム医療が行われていることが分かりました。今回の実習で学んだことをこれからの勉強や将来に活かし日々精進したいと思います。11週間ありがとうございました。</p>
R5	淡路	<p>調剤業務だけでなく、抗がん剤調製や病棟での服薬指導、カンファレンスやラウンドの見学、栄養管理部や検査部などの他部署の見学等、大学の勉強だけでは学ぶことのできない、様々な貴重な経験をさせていただきました。臨床現場を身近に感じ、幅広い知識を得ることができました。病棟業務では、病院薬剤師として、医師や看護師などの他の医療従事者とのチーム医療の重要性ややりがいを学びました。実務実習を通して学んだことをこれからの勉強に活かしていけるように、日々精進していきたいと思っています。最後になりましたが、お忙しい中、11週間という長期にわたり、ご指導いただきありがとうございました。</p>
R5	淡路	<p>11週間にわたる病院実習を受け入れてくださりありがとうございました。先生方の元で実習させていただけた事は私にとって大切な財産となりました。病院実習では、注射調剤、持参薬の鑑別、DI業務、医師への疑義紹介、抗がん剤ミキシング見学、病棟業務といった病院薬剤師ならではの体験をさせていただき深く学ぶ事ができました。内服調剤では、用法用量、病態と処方意図との繋がり、ハイリスク薬のオーダ理由の確認、鑑査時の注意点について学びました。注射調剤では、投与経路、投与間隔、細菌培養結果より抗菌薬の感受性の有無などを確認する重要性を理解する事ができました。また検査値、年齢、腎機能に応じた投与量の適正確認を厳密に行う事の大切さを学びました。カルテには医師や看護師の診察記事があり多職種間での情報共有の大切さ、チーム医療の重要性を学ぶ事ができました。また各講義を通して他の医療従事者との関わり、薬剤師の役割を学びました。安全管理の講義では、調剤過誤を防止する為のシステムを教えていただき医療安全への取り組みを実感しました。服薬指導では、薬の効果や副作用を患者さんに噛み砕いて伝える難しさから薬学的知識とコミュニケーション能力の重要性を感じました。また信頼関係の構築には、患者さんの意見を尊重し、傾聴する事は欠かせない事だと実感しました。日々、薬を扱うという重大な責任を感じる事ができ、どんな時も薬の先には人の命がある事は忘れてはいけなと強く感じました。教えていただいた事をしっかり活かしこれからも日々精進します。まだまだ未熟な私ですが、ここまで成長させていただきました事心より感謝致します。ご多忙の中、手厚くご指導くださりありがとうございました。</p>

R5	こころ	今回精神科病院で実習を行い、患者情報を確認する際には身体的なことだけでなく患者さんの背景までも理解することが大切であると学ぶことが出来ました。薬物治療においては精神科で使う薬に関して疾患や患者の状態に合わせて、用量や服用タイミングが異なるということを実際の現場を通して学ぶことができました。とても丁寧に教えてくださり、日々学ぶことが多くあり充実した実習期間を過ごすことができました。有難うございました。
R5	こころ	今回精神科病院で1週間実習させていただき、個々の患者さんの病棟や状態に合わせて学ぶことが出来ました。カンファレンスに参加させていただき、患者1人1人について多職種間で情報共有をし、これからの治療方法について話し合うことが大切であり、少しでも早く患者さんがよくなるための方法だと感じました。精神科病院でしか学ぶことができないことや、感じるできないものがあり、充実した1週間を過ごすことが出来ました。短い期間でしたが、優しく丁寧に教えていただき有難うございました。
R5	こころ	急性期病棟、慢性期病棟、アルコール依存症の開放病棟、児童思春期病棟などを見学し、精神科領域について学ぶことができました。多職種が連携し、患者さんの疾患について入院中にどのような治療をしていくかだけでなく、退院後の生活や家族との関わり方など様々な側面から考えていることを知りました。病棟を見学していく中で精神疾患は同じ疾患であっても患者さんによって特性があり、治療法もそれぞれ異なることがわかりました。5日間の実習を通して多くの経験をすることができました。お忙しい中ご指導していただき、ありがとうございました。
R5	こころ	精神疾患の患者と関わる機会があまりなかったので、どのような治療が行われているか、どのように薬剤師が介入しているかを学ぶことができました。精神疾患患者の状態に合わせて指導内容や患者への質問内容や聞き方を考慮する必要があること、また服薬指導にて得た患者の症状や状態について、他の看護師などの医療スタッフと共有することが重要であると学ぶことができました。病棟見学やカンファレンスの見学、講義などを実施していただき、非常に内容の濃い1週間を過ごすことができ貴重な経験になりました。1週間、ありがとうございました。
R5	こころ	精神科領域の学習のため、精神科専門病院のひょうごこころの医療センターで実習を行いました。精神科領域以外は別の病院で実習をしているため、1週間だけの大変短い期間でしたが、とても中身の濃い実習であったと思います。一般の病院とは構造や設備・セキュリティ面で異なり、薬剤師の介入方法も違っていました。例えば、患者の脱走防止のために扉が2重の電子ロックになっていたり、病棟・疾患ごとに特有のルールがあったり、検査値から薬効や副作用を読み取りにくい場合があるなど、一般病棟ではできない貴重な体験、経験がたくさんできました。短い期間でしたが、本当にありがとうございました。
R5	こころ	この度はお忙しい中実習を受け入れてくださりありがとうございました。実習を通し、精神科における薬剤師の役割について勉強させていただきました。病棟や服薬指導の見学から患者様との関りも学ぶことができ、貴重な経験をさせていただきました。最後の発表では課題に対し薬剤師としてどうアプローチするのか、そのために必要な情報は何かを考えることができました。この実習で学んだことを活かすまは国家試験合格に向けて励みます。薬剤部の先生方、丁寧に指導くださり本当にありがとうございました。

R5	こども	11週間お忙しい中、ご指導いただきありがとうございました。薬局実習でも小児の処方扱う事もありましたが、こども病院で実習させていただいて、より詳しく小児の疾患や投与量、鑑査の際に気を付けるべき点について学ぶことができました。調剤では少量の処方であったり粉やシロップの処方が多くあり、その点も小児を扱う病院の特徴であると感じました。注射や輸液の調剤は初めて行い、投与量や投与速度、ガンマ計算、医師のコメントなど処方箋に記載している内容の確認する点が多く、薬剤師としての役割の重要性を改めて感じました。投与量を考える際には腎機能等の検査値を考慮する事や年齢で投与量が決められている薬剤でも、低体重の小児もいるため添付文書通りにならないこともあるということなど、実際に臨床の場で学ばせて頂いたからこそその気づきがありました。病棟業務では電子カルテから情報を収集し、調剤の中では気が付かないところまで詳しく見ることで、病態と処方意図を繋げて考えることができました。薬のこと以外にもカンファレンスや他の部署の見学など様々な経験をする事ができ、薬剤師と他職種との関わりや病院薬剤師ならではの役割を間近で見させて頂きました。11週間の中で貴重な経験を多くさせて頂いて、充実した実習となりました。ありがとうございました。
R5	こども	薬剤部内での実習では、実際に錠剤や水剤、注射薬、輸液等の調剤をさせていただき、毎日処方箋に触れることで臨床の現場でどのような医薬品がどのように使用されているのかを体感しました。剤形など成人とは異なる点が多く、用量・用法も体重や年齢をもとに個別に計算する必要があり、処方の意図を読み取ることや、処方鑑査の大切さを学ぶことができました。病棟での実習では、一つの症例に数週間携わることで疾患について深く勉強することができました。服薬指導にも携わらせていただき、言葉選びや話す速度、患者さんや保護者の方との距離感を指導を行う度に自分なりに試行錯誤し、先生方の手厚いご指導もあり指導記録作成までの薬剤師業務を経験することができました。また、病棟では薬剤師だけでなく他の医療関係者と連携して仕事を行うため、薬剤師としての立場を忘れず、自分の専門性を発揮できるような働き方が求められることを学びました。実習、講義を通じて病院薬剤師の業務の全体像を理解することができて進路を考える機会にもなりました。11週間ご指導ありがとうございました。
R5	こども	11週間お忙しい中色々ご指導して頂きありがとうございました。小児専門の病院ということで、調剤や病棟業務において薬局実習の際とは異なった部分が多かったのでとても勉強になりました。調剤では患者さんひとりひとりの体重・年齢に合わせて細かく投与量を計算しなければならないということも学びました。病棟業務では患者さん本人ではなく親御さんに対して服薬指導を行う場面が多く、難しいと感じました。また薬剤部の中だけではなく病院内の他のあらゆる部署を見学させていただいたのでとても勉強になりました。今回の実習で学んだことを今後の学習に活かしていきたいと思えます。ありがとうございました。
R5	こども	この度は、お忙しい中実習生として受け入れて下さりありがとうございました。薬局実習でも小児の調剤に触れる機会は多くありましたが、病院実習のように一人の患者さんに長期的に関わらせていただくことはなかったため、病棟での指導や患者さんの疾患について深く知ることが出来ました。調剤業務や注射業務に関しては小児の患者さんが中心であることから、一人一人の年齢や体重、腎機能などの値を考慮することを教えていただき、病棟での指導では患者さん本人や保護者の方に寄り添った指導の大切さを学ばせていただきました。こども病院での実習を通し、先生方から学ばせていただいたことを忘れず今後も精進して参ります。11週間、温かいご指導をいただきありがとうございました。
R5	こども	11週間に及ぶ実習はとてもかけがえのないものになりました。服薬指導研修や講義の中で初めて聞く疾患について自分で調べて理解を深めるいいきっかけになったと思います。薬局では小児について触れることも水剤や散剤に触れることが少なく調剤に関してはかなりの不安があった中で最後までやり遂げることが出来て良かったと思います。発表のスライドも丁寧に見て下さり、フィードバックもしてくれたおかげでより理解を深めることが出来たと思います。薬局とは違う雰囲気でも実習が楽しく行うことが出来ました。分からないことを積極的に質問することが出来ました。
R5	こども	薬局実習でも小児科の処方箋はあったため、体重や年齢で投与量が変わることはある程度は知っていましたが、病院では腎機能やその他検査値によっても適宜加減しなければいけないことを知りました。また、注射剤の処方も多く扱うことが出来ました。配合変化の防止や抗がん剤施用者の曝露対策等、病院実習ならではの多くのことを実体験を通して学ぶことが出来ました。服薬指導においても、指導内容だけでなく、電子カルテを用いて患者背景から丁寧に教えて頂き、処方内容に納得しながら指導を行うことが出来ました。毎日が充実していたため、11週間があっという間に感じられました。

R5	がん	薬局実習では経験したことがない抗がん剤について触れることで、適正な薬物療法を提供するためのレジメンの重要性を学ばせていただきました。投与量や検査値、副作用を確認し、入院中の患者さんの変化を看護師や医師と一丸となって対応していることがわかりました。今回の実習で学んだことを将来の薬剤業務に繋げていきたいと思いました。
R5	がん	病院実習を通して、調剤方法や抗がん剤調製方法、服薬指導による患者さんとの関わり方など、薬局との違いを学ぶことができました。また、様々な講義やカンファレンスに参加させていただくことで、薬剤師として関与できることや医療従事者同士の情報共有の大切さ、医療チームの重要性についても学ぶことができました。この病院実習での経験を活かし、今後求められる薬剤師像を目指して勉学に励もうと思います。11週間ご指導いただきありがとうございました。
R5	がん	11週間大変お世話になりました。お忙しい中、多くの質問にもお答え頂き、充実した実習期間を過ごすことができました。カンファレンスへの参加や、病棟業務の見学などを通して、病院薬剤師の役割・必要性を再認識することができました。ありがとうございました。
R5	がん	11週間ご指導いただきありがとうございました。様々な講義やカンファレンスを通して、実務的な知識を身につけることができました。わからないことをお聞きした際は丁寧に教えてくださりました。お忙しいかと思いますが病棟に行って患者さんと接する機会がもっとあれば、より病院ならではの業務を経験できたのではないかと思います。本当にお世話になりました。ありがとうございました。